



Japanese Red Cross College of Nursing  
International Collaboration Center  
Annual Report  
2024



2024年度 活動報告書  
日本赤十字看護大学  
国際交流センター

## 目次

はじめに.....	1
I. 目的と運営 .....	3
A. 目的.....	3
B. 運営.....	4
II. 活動内容 .....	5
A. 国際交流・国際教育事業の推進及び実施.....	5
B. 大学間交流協定 .....	5
1. 大学間交流協定提携校.....	5
2. MOU 更新状況.....	6
C. 外国人研究者等の受け入れ・支援 .....	6
1. アンゴラ保健省関係者.....	6
2. ウクライナ赤十字社事務総長の訪問.....	8
3. チェンマイ大学（タイ） .....	9
4. 中国紅十字会幹部の表敬訪問 .....	11
D. 学生の国際交流 .....	12
1. ワシントン大学語学研修 .....	12
2. 学生部会の活動.....	18
3. スウェーデン赤十字大学交換留学生の受入 .....	20
4. スイス ラ・ソース大学交換留学生の受入 .....	22
5. スウェーデン赤十字大学交換学生派遣.....	22
6. スイス ラ・ソース大学交換学生派遣.....	24
7. 交換留学生派遣共通プログラム .....	32
8. 2024 年度交換留学生派遣：選考およびガイダンス .....	32
E. 国際会議・国際シンポジウムの開催 .....	33
1. 国際セミナー .....	33
F. その他 国際交流活動及び国際事業・協力活動 .....	35
1. TOEFL-ITP .....	35
添付資料	
1. 2024 年度国際交流センター 年間スケジュール .....	36

## Contents

Message from Director of International Collaboration Center .....	1
I . Purposes and Administration .....	3
A. Purposes .....	3
B. Administration .....	4
II . Main Activities .....	5
A. The Promotion of International Exchange and Education .....	5
B. Exchange Agreements with Foreign Universities.....	5
1. List of Exchange Agreements with Foreign Universities.....	5
2. MOU .....	6
C. Faculty and Staff Support for Researchers from Foreign Countries .....	6
1. Acceptance of visiting group From Ministry of Health of Angola .....	6
2. Acceptance of visiting Secretary General of the Ukraine Red Cross. ....	8
3. Acceptance of visiting group From Chiang Mai University. ....	9
4. Acceptance Courtesy visit by senior officials of the Red Cross Society of China .....	11
D. International Exchange Programs for Students .....	12
1. Intensive English Program at University of Washington, Seattle, U.S.A. ....	12
2. Activities at International Collaboration Center Students .....	18
3. Exchange Students from the Swedish Red Cross University College .....	20
4. Exchange Students from Institut et Haute Ecole de La Santé La Source, Switzerland.....	22
5. Exchange Students to the Swedish Red Cross University College .....	22
6. Exchange Students to Institut et Haute Ecole de La Santé La Source, Switzerland.....	24
7. Student Exchange Joint Meetings.....	32
8. Students Studying Abroad: Selection and Guidance.....	32
E. International Conferences and Symposiums.....	33
1. International Seminar .....	33
F. Other International Activities, International Programs and Cooperative Activities .....	35
1. TOEFL-ITP .....	35
Appendix	
1. 2024 Annual Schedule .....	36

## はじめに

国際交流センター長 渋谷 真樹

本学は、赤十字の人道主義や国際性を背景に、人々が豊かで平和に、そして健康に生きる社会の創設に貢献できる人々を育てています。赤十字の理念を体得するために、国際交流は欠かせない柱です。そこで、本国際交流センターは、2015年の設立以来、複数の大学と大学間交流協定を結んで学生や教員の派遣・受け入れを行ったり、国際シンポジウムを開催したりするなど、赤十字社のネットワークを生かしつつ、研究・教育・社会貢献の各領域で、国際交流や国際教育事業の推進をはかってきました。

今年度は、6月にアフガニスタンより、女性人権活動家のマブーバ・セラジ氏をお迎えし、「アフガニスタン女性のおかれた状況と保健課題」をテーマにたいへん貴重なご講演をいただきました。2021年にTIMESの「世界で最も影響力がある100人」にも選ばれているセラジ氏にご来学いただけたことは、赤十字ならではのことと思います。アフガニスタンの困難な現状を知り、私たちが日本からできることについて考え、行動する機会をいただきました。

11月には韓国交通大学からキム・ヨンハ先生をお招きし、「看護学生のためのアクティブ・ラーニング：日韓経験交流ワークショップ」を実施しました。当初、英語と日本語で行っていたワークショップでしたが、参加した大学院生や学部生の中に韓国に堪能な人がおり、3か国語での開催になりました。本学の学生の底力を感じた出来事でした。

4月にはアンゴラ保健省より視察があり、8月にはチェンマイ大学から研究者が来学しました。いずれも、本学の教員の日ごろからの国際的な研究活動の賜物です。

学生の国際活動も活発に行われました。8月のアメリカ・ワシントン大学での語学研修は予想を超える人気ぶりで、あっという間に募集枠が埋まってしまいました。そこで、急遽2月3月にも実施し、英語でのコミュニケーションや異文化間の経験を積む機会を設けました。

10月から11月にかけては、スウェーデン赤十字大学からの交換留学生3名を迎えました。学生部会による歓送迎会や、前年度の本学からの交換留学生によるアシスタントなど、学生も積極的に受け入れに参画しました。

2月、3月には、6人の学生がスイスとスウェーデンの協定大学に派遣されました。現地での体験は、若い彼女たちにとって一生忘れない財産になったことと思います。その経験を、本学の他の学生にも広めてくれることを期待しています。

このように、国際交流センターは、本学のグローバルな活動の拠点として、「人道(Humanity)」という赤十字の理念を実現すべく、日々励んでいます。この活動報告書で、その活動を振り返り、よりよい実践へとつなげていきたいと考えています。

# I. 目的と運営

## A. 目的

国際交流センターは、本学における国際交流事業に広く貢献することを目的として 2015 年 4 月に設立された。学生や教員が様々な形で国際交流に参加できるよう、主に次の 6 つに関する活動を実施している。

1. 国際交流・国際教育事業の推進及び実施
2. 大学間交流協定
3. 外国人研究者等の受入・支援
4. 学生の国際交流
5. 国際会議・国際シンポジウムの開催
6. その他国際交流活動及び国際事業・協力活動など

International Collaboration Center was established in April 2015 in order to contribute widely to international exchange programs in our college. We implement various international activities for our students as well as faculty members to take part in the programs.

1. To promote as well as implement international exchange and education
2. To exchange agreements with universities
3. To accept and support researchers from foreign countries
4. To promote international exchange programs for students
5. To hold international conferences and symposiums
6. To promote other international exchange activities as well as international programs and cooperative activities

## B. 運営

国際交流センターは、日本赤十字看護大学国際交流センター規程に定める通り、本学教授を国際交流センター長とし、国際交流センター運営委員会を置いている。委員会は、センター長を含む13名の教員と4名の職員で構成され、上述の国際交流センターの目的1～6及び運営に関して毎月協議・報告を行っている。運営に関わる財源は、国際交流センター運営委員会予算から支出している。

各活動の担当者は次の通りである。

**表 1. 国際交流センター運営委員会 各活動担当者一覧表**

担 当 役 割	教 員	職 員
国際交流センター長	渋谷 真樹	
国際交流センター運営委員会 副委員長	齋藤 英子 住谷 ゆかり	
研修・語学力の推進（TOEFL-ITPテスト） （会場運営）	遠藤 花子 田代 幸子 服部 弓子 庄木 里奈	
MOU	齋藤 英子	
他国からの教員受入・外国人研究者受入	角田 敦彦 安部 陽子 齋藤 英子	
スウェーデン赤十字大学 交換学生受入・派遣 スイス ラ・ソース大学 交換学生受入・派遣	吉川 悦子 古城門 靖子 田代 幸子 住谷 ゆかり	高橋 朋子 平泉 奏 矢野 悠太 高 汐里
ワシントン大学大学語学研修	遠藤 花子 住谷 ゆかり	
学生部会	古城門 靖子 田代 幸子 鈴木 瞳 服部 弓子 庄木 里奈	
国際会議・国際シンポジウム	野口 眞貴子 齋藤 英子 吉川 悦子	
年報・報告書	安部 陽子 角田 敦彦	
H P 更新、その他支援	高橋 朋子 平泉 奏 矢野 悠太 高 汐里	

## II.活動内容

### A. 国際交流・国際教育事業の推進及び実施

国際交流センターは、原則として、毎月定例で会議を開催し、国際交流・国際教育事業の推進及び実施をしている。6つの海外大学と「看護教育および研究・開発に関する覚書（MOU）」を締結し、随時更新している。MOUに則って学生や教員の派遣や受け入れをしており、その選考や準備、実施を行っている。MOU締結校以外への学生の海外研修としては、ワシントン大学への語学研修を設けており、両キャンパスの学生が参加している。

MOU提携校以外からも外国人の研究者や実務家・学生等から申し入れがあれば、随時検討の上、受け入れを行い、本学の教育プログラムや施設を紹介している他、本学教員によるレクチャーやディスカッションの場を設定している。

学生の国際交流としては、学生部会を設置し、交換留学生との親睦や学内行事への参加など、学生の国際交流を図っている。

さらに、海外の研究者や実務家を招いて国際シンポジウムを開催し、学内外にグローバルな知的交流の場を提供している。

以下、それぞれについて、本年度の具体的な活動を報告する。

### B. 大学間交流協定

#### 1. 大学間交流協定提携校

本学では、以下の海外の大学と「看護教育および研究・開発に関する覚書（MOU）」を締結している。

- ・ スウェーデン赤十字大学 (The Swedish Red Cross University, Sweden)
- ・ スリサバリンダタイ赤十字看護大学 (Srisavarindhira Thai Red Cross Institute of Nursing, Thailand)
- ・ ラ・ソース大学 (La Source, School of Nursing, University of Applied Sciences and Art of Western Switzerland, Switzerland)
- ・ カンボジア健康科学大学 (University of Health Sciences, Cambodia)



- ・聖アンソニー看護大学 (Saint Anthony College of Nursing, USA)
- ・グランド・バレー州立大学 (Grand Valley State University, USA)

## 2. MOU 更新状況

2024 年度の MOU 更新をめぐる状況は、以下の通りである。

表 2. MOU 締結交流

2024年度 MOU協定状況

	大学名	初回締結 年月日	協定更新 年月日	期間	満了日	申し出期限	備考
1	スウェーデン赤十字大学	2008/5/24	2021/6/9	5 年	2026/6/30	2026/3/30	
2	スリサバリンダタイ赤十字看護大学	2013/12/2	2023/8/29	5 年	2028/8/28	2028/5/27	更新しない場合は、90 日前に申し出
3	ラ・ソース大学	2014/5/12	2022/5/27	5 年	2027/5/26	—	1 年おきに見直し
4	カンボジア健康科学大学	2016/9/12	2024/3/29	5 年	2029/3/28	2028/3/28	6 カ月前までに申し出
5	聖アンソニー看護大学	2018/7/23	2023/7/21	5 年	2028/7/20	2028/1/20	6 カ月前までに申し出
6	グランド・バレー州立大学	2018/6/7	2023/5/30	5 年	2028/5/29	2028/1/28	120 日前までに申し出

\*申し出期限の一年前から検討開始

## C. 外国人研究者等の受け入れ・支援

### 1. アンゴラ保健省関係者

2024 年 4 月 17 日（水） 「アンゴラ国プライマリヘルスケア施設における妊産婦ケアの質改善プロジェクト」における「妊産婦ケアの質改善」研修の一環として、アンゴラ保健省関係者 3 名、JICA プロジェクト関係者 3 名、通訳 1 名の訪問を受けた。母子ケア実習施設見学を含む大学説明と共に、国際保健助産学専攻大学院生との交流が行われた。訪問者の一覧および訪問スケジュールは以下である。

- 1) Dr. FRANCISCO Ketha Rubuz, Primary Health Department, Ministry of Health of Angola  
Head of Department
- 2) Dr. NHUMBA Lucas Antonio, Provincial Gavinet of Health in Huambo, Ministry of Health  
of Angola Head of Provincial
- 3) Dr. LUVANGAMO Paulo Miguel, Provincial Gavinet of Health in Huíla, Department of

Public Health, Ministry of Health of Angola Head of Provincial

- 4) Mr. 定森 徹, JICA プロジェクト専門家 業務主任者／地域保健
- 5) Mr. 福嶋 幸 JICA プロジェクト専門家 副業務主任者／母子保健
- 6) Ms. 鈴木 美保, JICA プロジェクト専門家 "医療サービスの質管理／母子保健政策／研修管理"
- 7) 通訳

表 3. アンゴラ保健省関係者 受け入れ スケジュール

時間	スケジュール	場所	担当者
8:50	大学到着	玄関 →207 教室	高橋、鳥羽、齋藤、東、加藤、 笹川
9:00-9:40	学長挨拶	学長室	守田、渋谷、齋藤、笹川
	大学説明 (本学の歴史・理念・カリキュラム・教育の特徴等)	207 教室	渋谷、角田、齋藤、東、加藤、 高橋、矢野、笹川
9:40-10:30	日本赤十字看護大学施設見学	図書館、展示コーナー、教室など	渋谷、齋藤、東、加藤、 高橋、矢野、笹川
	母子ケア実習施設見学	第 3 実習室	齋藤、東、加藤、笹川
10:40	国際保健助産学専攻大学院生との交流 ・アンゴラの Country Profile 紹介 ・「科学的根拠に基づいた助産ケア:アンゴラを例に」講義 ・質疑応答	207 教室	加藤、笹川 修士 1 年学生(約 10 名)
12:15	見送り	207 教室 →玄関	加藤、高橋、矢野、笹川



守田学長 表敬訪問



アンゴラ共和国に関するご講演



施設見学



集合写真

## 2. ウクライナ赤十字社事務総長の訪問

2024 年 6 月 21 日（金）15：40～17：00、ウクライナ赤十字社 事務総長および副事務長の訪問を受けた。訪問者の一覧および訪問日程は以下である。

- 1) マクシム・ドツェンコ氏 Mr. Maksym Dotsenko, ウクライナ赤十字社 事務総長
- 2) イリヤ・クレツコフスキー氏 Mr. Illya Kletskovsky, ウクライナ赤十字社 副事務総長
- 3) 五十嵐参事, 本社国際部職員
- 4) 篠崎係長, 本社国際部職員
- 5) 石黒囑託職員, 本社国際部職員

表4. ウクライナ事務総長 受け入れ スケジュール 場所 第一会議室

時間	スケジュール・担当者
15:40	玄関でお迎え（高橋次長、高橋課長）、第一会議室に移動 挨拶（守田学長）、参加者紹介（高橋次長）、 大学説明（齋藤副委員長）、 質疑応答（適宜対応）、記念撮影
16:30	大学見学（高橋次長、高橋課長、矢野主事） 第一会議室に移動（高橋次長他）
17:00	玄関でお見送り（守田学長、佐々木副学長、桑原局長）



### 3. チェンマイ大学（タイ）

2024年8月8日（木）13:30～16:30 チェンマイ大学（タイ）の訪問を受けた。訪問者の一覧および訪問日程は以下である。

1. Associate Professor Dr. Wanpen Songkham

2. Associate Professor Dr. Weeraporn Suthakorn
3. Associate Professor Dr. Anon Wisutthanant
4. Associate Professor Dr. Waruntorn Jongrugrotsakul
5. Associate Professor Dr. Patcharin Chaisurin

時間	スケジュール・担当者
13 : 30~15:30	<p>お迎え（吉川）、209 教室に移動</p> <p>参加者自己紹介</p> <p>挨拶・大学紹介（渋谷委員長委員長）、記念撮影</p> <p>日本の看護教育制度、産業看護継続教育に関する紹介（吉川）</p> <p>タイの産業看護教育に関する話題提供</p> <p>意見交換・質疑応答（適宜対応）</p>
15 : 30~16:30	<p>大学見学（吉川）</p> <p>お見送り</p>







#### 4. 中国紅十字会幹部の表敬訪問

2024年12月13日（金）16:30～17:00に、12月12日（木）～12月16日（月）で日本を訪問されていた中国紅十字会幹部の表敬訪問があった。訪問者の一覧は以下である。

- 1) Mr. Wang Ke, 中国赤常務副会長 (Executive Vice President of Red Cross Society of China)
- 2) Ms. Mi Na, 中国赤対外連絡部長 (Director General of External Liaison Department, RCSC)
- 3) Mr. Bei Xiaochao, 中国紅十字基金代表 (Director General of Chinese Red Cross Foundation)
- 4) Ms. Zhang Han, 対外連絡部 国際協力課 シニアオフィサー (Senior Officer of International Cooperation Division, External Liaison Department)
- 5) Mr. Song Jingyan, 総務部 シニアオフィサー (Senior Officer of General Administrative Office, RCSC)

表 3. 他国からの来訪者受入れ一覧（2018 年度～2024 年度）

2018	5 月	1	5/23 韓国赤十字中央大学 大学院生	21 名	大学の施設見学、大学紹介文化交流、大学院学生の研究テーマの意見交換
	9 月	2	9/12 ラオス Save the Children 看護師 Helen Catton	1 名	国際保健助産学の大学院生向けの特別講演を行うため
			9/19 シリア・アラブ赤新月社代表団	4 名	日赤が実施している医療事業、人材育成事業の現場を学ぶため
	10 月	1	10/9 スリランカ厚労省	1 名	国際保健助産学の大学院向けの特別講演を行うため
2019	他国からの来訪者受入れなし				
2020	他国からの来訪者受入れなし				
2021	他国からの来訪者受入れなし				
2022	3 月	1	3/2 タイ Srinakharinwirot University	9 名	国際交流
2023	7 月	1	7/25 クロアチア Varazdin Medical School	4 名	地方革新的な技術に特化したセンターの設立プロジェクトの一環として、看護大学のカリキュラム、施設等見学のため
	9 月	1	9/21 スウェーデン赤十字大学学部生	1 名	卒業研究のためのインタビュー調査
	10 月	1	10/31 タイ スウェーデン赤十字大学	2 名	交換学生プログラムに関する意見交換
2024	4 月	1	4/17 アンゴラ保健省	7 名	「アンゴラ国プライマリヘルスケア施設における妊産婦ケアの質改善プロジェクト」の「妊産婦ケアの質改善」研修の一環
	6 月	1	6/21 ウクライナ赤十字社	5 名	看護大学設立のための施設等見学のため
	8 月	1	8/8 チェンマイ大学	5 名	産業看護継続教育に関する意見交換
	12 月	1	12/13 中国紅十字社	8 名	表敬訪問

## D. 学生の国際交流

### 1. ワシントン大学語学研修

2023 年度より、米国のワシントン大学にて語学研修を行っている。2024 年度は、看護学部より 15 名の学生が参加した。参加可能な人数が限られていたため、先着順で募集したが、あっという間に枠が埋まってしまい、3 月に 2 度目の研修を追加することで対応した。3 月には、看護学部生 9 名、さいたま看護学部生 4 名の計 13 名が参加した。

参加学生からのアンケートからは、充実した研修だったことが随所にみられた。





# 研修スケジュール

2024年度夏期

2024年度版

	日付	発着地	現地時刻	交通機関	スケジュール		食事			宿泊		
					午前	午後	朝	昼	夕			
1	8/17 (土)	羽田空港 発 シアトル 着	21:15 14:25 夕方	NH118 専用車	一路シアトルへ向け出発 *****途中国際日付変更線通過***** 入国審査後、ワシントン大学へ移動 夕方、ワシントン大学にてオリエンテーション ホストファミリーと対面。各家庭に入る		機		○	ホームステイ		
2	8/18 (日)	研修基本スケジュール			終日：各自または、ホストファミリーと過ごす		○		○	ホームステイ		
3	8/19 (月)	各家庭にて朝食 08:30~11:50			STEP 登録手続き (プレゼンテーション)	ウェルカムレセプション後、 大学ウォーキングツアー	○	○	○	ホームステイ		
4	8/20 (火)	STEP クラス			STEP クラス	STEP フィールドトリップ (2回) または 自由研修	○		○	ホームステイ		
5	8/21 (水)	12:00~ 各自がエリア、学生街等でランチ			STEP クラス		○		○	ホームステイ		
6	8/22 (木)	13:30~ STEP フィールドトリップ 自由研修後、帰宅			STEP クラス		○		○	ホームステイ		
7	8/23 (金)				STEP クラス		○		○	ホームステイ		
8	8/24 (土)	STEP フィールドトリップ例 (過去の実施例)			 シアトルプレミアムアウトレット見学		○		○	ホームステイ		
9	8/25 (日)	*Downtown Seattle *Bainbridge Island Ferry Trip *Volunteer Park and Conservatory			終日：ホストファミリーと共に過ごす		○		○	ホームステイ		
10	8/26 (月)	*University Village *Pioneer Square & Smith Tower			STEP クラス	STEP フィールドトリップ (2回) または 自由研修	○		○	ホームステイ		
11	8/27 (火)	*HUB Indoor Activity *Sports Day			STEP クラス		○		○	ホームステイ		
12	8/28 (水)	*Fremont Scavenger Hunt *Seattle Center *Kelly Park & Farmers Market			STEP クラス		○		○	ホームステイ		
13	8/29 (木)	*Ice Skating *Kirkland Waterfront *Seattle Art Museum			STEP クラス		○		○	ホームステイ		
14	8/30 (金)				STEP クラス	スターバックス リザーブ 焙煎工場見学 	○		○	ホームステイ		
15	8/31 (土)				終日：各自または、ホストファミリーと過ごす 9/2 Labor Day Holiday (祝日)		○		○	ホームステイ		
16	9/01 (日)						○		○	ホームステイ		
17	9/02 (月)						○		○	ホームステイ		
18	9/03 (火)				STEP クラス	STEP フィールドトリップ (2回) または 自由研修	○		○	ホームステイ		
19	9/04 (水)				STEP クラス		○		○	ホームステイ		
20	9/05 (木)				STEP クラス		○		○	ホームステイ		
21	9/06 (金)				STEP クラス	研修修了式 	○		○	ホームステイ		
22	9/07 (土)				終日：自由研修 シアトルでの最後の週末をお楽しみください		○		○	ホームステイ		
23	9/8 (日)						○		○	ホームステイ		
24	9/9 (月)	大 学 発 シアトル 発	12:45 16:40	専用車 NH117	12:45pm ホストファミリーの送迎で大学に集合後、空港へ 13:30pm 空港着 13:40pm チェックイン 一路、帰国の途へ *****途中国際日付変更線通過*****		○		機	機内泊		
25	9/10 (火)	羽田空港 着	14:50		羽田空港到着 入国手続き後、解散							

4:00 6:00 8:00 12:00 13:00 16:00 18:00 23:00 4:00

早 朝

朝

午 前

昼

午 後

夕 方

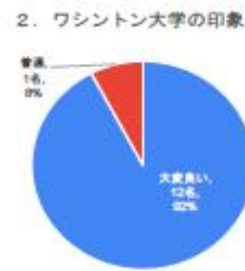
夜

深 夜

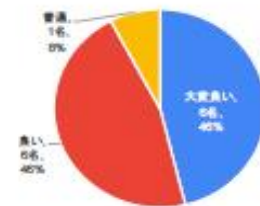
【予定航空会社】全日空 ★上記アクティビティ内容は現地の都合や航空会社のスケジュールによって変更になることもあります。

4:00 6:00 8:00 12:00 13:00 16:00 18:00 23:00 4:00  
 早朝 朝 午前 昼 午後 夕方 夜 深夜  
 【予定航空会社】 全日空 ★上記アクティビティ内容は現地の都合や航空会社のスケジュールによって変更になることもあります。

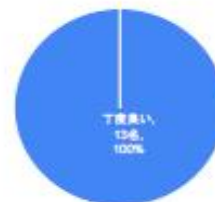
<2024年 ワシントン大学STEP研修 アンケート回答>



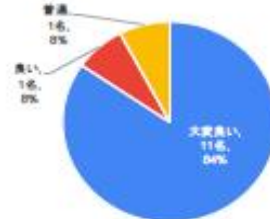
3. 大学周辺エリアの環境について



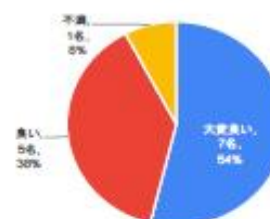
4. 授業時間数



5. インストラクターの教え方



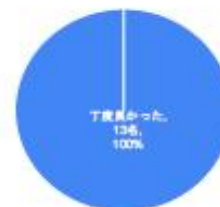
6. 授業で使用了教材



7. 授業の内容



8. 授業の難度



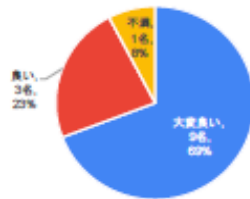
9. 役に立った・良かった授業内容やアクティビティーについて教えて下さい。

- ・セントの教え方やゴミの分別方法、スラングで用いる英語を教えてくださいましたのが薄在中とても役立ちました。
- ・発音やインタビューするのは良かった
- ・Bainbridge Island
- ・フィールドトリップ、プレゼンテーション
- ・大学内の建物と歴史について
- ・放課後のPike Place Market
- ・現地での具体的な発音練習が役に立ったと思う。
- ・プレゼンテーション
- ・フィールドワークで先生の説明を聞いたり質問したりするアクティビティ
- ・小銭の計算方法、hub
- ・Starbucksでのインタビューなど現地の人に声をかけるもの
- ・外に出て行う授業は良かったです。アウトレットに連れて行ってもらったのがとてもありがたかったです。
- ・発音やカルチャーショックについて学ぶ授業 映画を見る授業

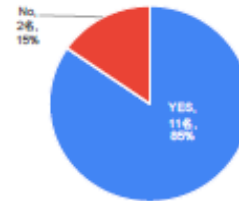
10. あまり良くなかった授業内容やアクティビティーについて教えて下さい。

- ・ビーチに行った日が曇りだったことが残念でした。
- ・プレゼンテーションをすることについて事前の説明が必要だと感じた。
- ・一人一人話す時間を作るのは大切だけど、聞く時間が長かった
- ・fish ladder
- ・Bellevue Square
- ・先生の一方通行になるようなアクティビティ
- ・フェリー

11. ホームステイの体験



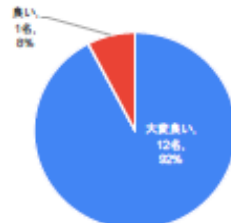
12. あなたのホストファミリーを他の学生に推薦できますか？



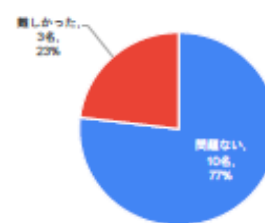
12. で、「No」の方は、ホストファミリーの名前とその理由を教えてください。

- ・家が大学から遠く、皆より早く起き、早く帰らなければならない。休日は自分たちで何をするか考え、自分たちでそこに行かなければならない。これは大学生としては当たり前なことであるのは承知の上だが、同じ値段を払っている中、ホストファミリーに送迎してもらえたり、どこかに連れて行ってもらえたりする人たちがいるので、少し不公平に感じた。

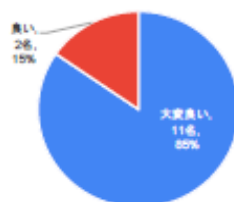
13. 研修地としてのシアトル



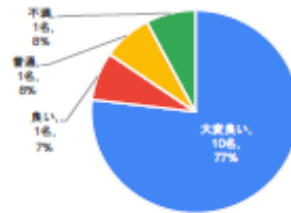
14. 毎日の通学（公共交通機関の利用）



15. UW STEP TEAMの対応



16. 東京エクスプレスの諸手配・案内



17. 英語の実力の進歩



18. アメリカ、生活習慣の違いについての理解



19. 研修地でのあなたのお勧めの過ごし方、場所を教えてください。

- ・Alkali beach, Gas works park
- ・Pike Place Market (2名)
- ・スポーツ観戦(マリナーズのデイゲーム、ハスキーススタジアムでのフットボール)、ビーチに行ってサンセットを見る、美術館に行く
- ・放課後は近い所、休日は遠い所に行く事をおすすめします。休日にはレストランに入ると自分の英語力がとても試されて良い刺激でした！！
- ・興味を持ったお店にたくさん入る。映画館に行く。アウトレットは絶対面白い
- ・ウエストレイクでぶらぶら
- ・スーパード。日本にはないものばかりで楽しかった！
- ・Southcenter, U village
- ・家族との時間を大切に積極的に！
- ・自然を感じられる場所に行く

20. 事前に知っておいた方が良かったことがあれば教えてください。

- ・想像していたより寒く、夏といえども秋物の準備をするべきだと知っていたかったです。
- ・思ったより寒かった
- ・観光地を調べておく(ホストファミリーにどこに行きたいか聞かれたらすぐ答えられるように)
- ・街中に軍物の使用でひどい症状が出ている人もいる事を知りたかった。着いてからとても驚いた。
- ・日本人からしたらシアトルの気候は非常に寒いので冬服を持参の方がいいです！
- ・寒い！半袖ほいらいなかった
- ・思っていた以上に寒い。薄手のアウターじゃ足りない

・物の値段やおすすめのお土産

21. 持ち物について、持参した方が良いと思う物を教えてください。

・上着 朝は寒い 天気が悪いと寒い

・クローゼットで着るワンピースと靴を持っていけば良かった。シャンプーが家になかったので持っていけば良かった。爪切り、サングラス、iPadかパソコン(課題でパワーポイントを作るため)逆に自分が食べる用のお菓子は意外と余って困っている子が多かったのじゃなくて良い。

・菓子を持って行った方が良いと思いました。羽織る物も薄い物と厚い物を持っていく事をお勧めします。

・エコバッグ、日焼け止めスプレー、冬服、ボディパック

・ファブリーズ、カルピスの原液(カルピス高すぎるので)、ふりかけ、クレカをスマホのApple Payなどに入れておく(全部のお店でAppleタッチ使える)、スマホホルダー、モバイルバッテリー、圧縮袋、自分の趣味。

・長袖たくさん、ファブリーズ、ジップロック、カード2枚、スマホストラップ、  
日傘(現地で指してる人見かけなかったけど、日差しが熱い時に持てると一気に涼しくなっていく)

・ハサミ(タグなどを切れる)、マスキングテープ(自分のものに名前をかける)、  
予想以上に寒かったのでユニクロのコンパクトなフリースなどもっていった方がよかったと感じました。

・しおりに記載されているもので十分でした

22. プログラム全体で改善すべき点がございましたらお聞かせ下さい。

・ルームメイトとアクティビティの曜日が違ったので、家の鍵が一つしかなかったから持ち合わせや時間調整が難しかった。

23. 全体的なご感想・ご要望などお聞かせください。

・楽しかったです

・担当して下さったダーク先生が優しく面白くて素敵な方でした。迷ってるなら絶対に参加すべき！一生の思い出になった。

みんな言ってるけど、最初の1週間は本当に長く感じて大変だった。でも2、3週間はびっくりするくらい早かった。

来るまでの手続きが難しかった。

たくさんご迷惑おかけしてしまったけど大岩さんが対応して下さったおかげで無事プログラムに参加することができました。ありがとうございます。

・参加できてよかったです。貴重な経験になりました！ありがとうございます！

・とても楽しかったです



## 2. 学生部会の活動

国際交流センター運営委員会では、交換留学生や海外からの訪問者と本学学生が交流を図る目的で、2015 年度に国際交流センター学生部会を立ち上げた。2024 年度は 10 年目となり、学生主体で積極的に企画・実施を行っている。2024 年度の部会登録者数は、学部生と大学院生とで計 60 名を超え、学部 2 年生を中心に運営された。広尾キャンパスと大宮キャンパスでの交流も図りながら、年間を通して活動を行った。ほとんどの交流企画は対面で実施し、両キャンパスでの共同活動はオンラインで繋ぎながら行った。主な活動内容は、広尾、大宮両キャンパスにおける大学祭への出展、留学生との交流会であった。

2024 年度は、本学の学生・教員における国際交流を目的とした講演会が学生部会により企画・開催された。2025 年 1 月 10 日（金）に医師の檜戸健次郎先生がさいたまキャンパスへ来校し、講演会「ネパールにおける僻地医療の実際」について講演を行った。対面で、学生 11 名（1 年生 5 名・2 年生 4 名・3 年生 1 名・4 年生 1 名）教職員 7 名の計 18 名が参加した。先生のご講演に続いて、学生らと先生との間で積極的に質問と意見交換がなされた。事後アンケートでは、全員が講演に関して満足したと回答しており、ネパールでの医療支援の実際だけでなく、檜戸先生の長い支援経験に裏付けられた知識や考え方から学びを得たこと、心に響く楽しい時間であったことが多く述べられていた。

学生らは、事前にネパールのことを調べて臨んで意見交換へ備えており、運営も学生部会が主体的に行っていた。また、講演会へ参加したことにより新たに 3 名の学生が部会へ入会をした。





表 4 2024 年度 国際交流センター運営委員会 学生部会企画

回	日程	時間	内容	キャンパス	場所	来場者数
1	4/24(水)	12:15-12:50	新入生歓迎会	広尾	211	26
2	5/10(金)	12:20-12:50	新入生歓迎会	大宮	SALA	10
3	6/2(日)	10:00-16:00	プリムローズ祭	大宮	ゼミ室 2	20 人以上
4	6/26(水)	12:15-12:50	【共同活動】 英語を学ぼう！	広尾 & 大宮	211	
5	10/28(月)	12:15-12:50	【留学生企画】 スウェーデン留学生 歓迎ランチ会	広尾	210	41
6	11/5 (月)	12:15-12:50	【留学生企画】 スウェーデン留学生 歓迎ランチ会	大宮	SALA	25
7	11/8(金)	18:15-19:15	【留学生企画】 スウェーデン留学生 送別会	大宮	SALA	24
8	11/16(土)	10:00-16:00	クロアージュ祭	広尾	校内各所	17+来場者
9	1/10(金)	18:00-18:45	講演会「ネパールにおける僻地医療の実際」	大宮	多目的演習 室	17

学生部会の活動も対面での交流に戻り、学生同士が積極的に交流を楽しむ様子が見られた。次年度へ向けても、両キャンパスでの連携も図りながら、オンラインと対面の良い部分を生かし、国際交流推進に取り組みたいとの意見が出された。

### 3. スウェーデン赤十字大学交換留学生の受入

スウェーデン赤十字大学との MOU は 2008 年 5 月に締結され、同年 11 月より交換学生の受入れを開始した。本年は 10 月 24 日から 11 月 8 日の 2 週間の日程で Ms. Aischa El Haitali, Mr. Hao Hoang Nguyen, Ms. Ulu Hannan Gunya Bajun の 3 名の交換留学生を受け入れた。

受け入れにあたっては、広尾キャンパスでは精神保健看護学領域の鷹野教授および古城門准教授、さいたまキャンパスでは基礎看護学領域の吉田教授が主担当となった。受け入れ内容の詳細は、以下の表 5 のとおりである。

表 5 2024 年度 スウェーデン赤十字大学交換留学生の受入日程

	日	曜日	時間	内容	場所	担当教員	宿泊先
1週目(広尾) 精神	10/24	木	17:25	羽田空港に到着(CA167)	羽田空港	SA	東急ステイ築地 15:00チェックイン 10:00チェックアウト
	10/25	金					
	10/26	土		3日間のどこかで、ホテル(築地)から大学(広尾)まで案内、築地のホテル近辺のスーパーなど案内			
	10/27	日				SA	
	10/28	月	10:00~	オリエンテーション	206教室	国際交流センター	
			12:00~13:00	歓迎会			
			14:00~	オリエンテーション(精神保健看護学領域)	学内 多目的演習室	精神保健(鷹野・古城門)	
							SA
	10/29	火	9:00~	都立松沢病院(施設見学、資料館での精神医療史学修)	京王線 八幡山駅	精神保健(鷹野・古城門)	
	10/30	水	10:00	自主学習			
			14:00~	港区立精神障害者支援センターあいはいと・みななどにて実習	都営三田線 白金高輪駅		
	10/31	木	10:00	学内プログラム			精神保健(鷹野・古城門)
							SA
			14:00~17:00	まいんずたわーメンタルクリニック(実習)	新宿	精神保健 古城門	
11/1	金	10:00~12:00	日赤本社見学	日本赤十字社	事務局(高橋・矢野)		
		14:00~16:00	精神保健看護学領域最終カンファレンス	学内 多目的演習室	精神保健(鷹野・古城門)		
						SA	
2週目 (さいたま)	11/2	土		自由			
	11/3	日		自由			
	11/4	月		宿舎移動(築地から大宮のホテルへ)		SA	スーパーホテル さいたま 大宮駅西口 朝食付き(自由) 15:00チェックイン 10:00チェックアウト
	11/5	火	10:30~	大宮キャンパスオリエンテーション	大宮キャンパスSALA (留学生控室ゼミ(確保済))	成人(奥原)・基礎(吉田・庄木) 学生部会メンバー	
			11:00~	基礎・成人看護学領域実習オリエンテーション			
			11:30~12:50	学内見学・ランチ会			
			13:00~	授業見学(3限、4限)			
	11/6	水	看護部長挨拶	深谷赤十字病院	SA・吉田・仙波 通訳:東田	成人(奥原)・基礎(吉田・庄木) 通訳:東田	
			10:00~12:00				病院内オリエンテーション・ツアー
			産科・緩和ケア病棟見学				
			12:00~13:00				昼食 4-1会議室
			13:00~15:00				内科系(6N)/外科系(5S) 病棟見学
		15:00~16:00	総合実習の学部生と一緒にカンファレンス				
			大宮のホテルに移動		SA		
	11/7	木	10:00~12:00	ICU/手術室見学/救急病棟(2SB)	深谷赤十字病院	SA・吉田 通訳:東田	
			12:00~13:00	昼食 4-1会議室			
			13:00~14:00	救急外来見学			
				大宮のホテルに移動			
			自己学習		SA		
11/8	金	~12:00		大宮キャンパスSALA (留学生控室ゼミ(確保済))	成人(奥原)・基礎(吉田・庄木) 通訳:東田		
		12:10~12:50	学習体験発表会(ハイブリット)				
		13:00~14:00	昼食				
		14:00~15:30	評価面接				
	18:15~19:15	送別会	共同研究室1	成人(奥原)・基礎(吉田・庄木) 通訳:東田			
				SALA	学生部会メンバー		
11/9	土		ホテルチェックアウト				
11/10	日						



◆交換留学生（スウェーデン）



広尾キャンパスでの歓迎ランチ会



さいたまキャンパスでの歓迎ランチ会





スウェーデン赤十字大学からの交換留学生の受け入れにあたり、広尾・大宮キャンパスのそれぞれ初日にはオリエンテーションを開催した。また、期間中に日本赤十字社本社を見学した。スウェーデン赤十字大学の交換留学生3名は11月1日（金）に行った。さらに、国際交流センター運営委員会学生部会が主催して歓迎会やさまざまな交流会、送迎会を行った。これらの活動を通じて、交換留学生と両キャンパスの学生が親睦を深めた。



#### 4. スイス ラ・ソース大学交換留学生の受入

ラ・ソース大学とのMOUは2014年5月に締結され、2015年10月より交換学生の手入れを開始した。3名の交換留学生の手入れを計画していたが、ラ・ソース大学のカリキュラムの変更に伴い、本年度は学生の手遣を見送るとの手絡があった。

#### 5. スウェーデン赤十字大学交換留学生手遣

スウェーデン赤十字大学の交換留学生手遣は、2025年2月24日（月）～3月28日（金）の5

週間であった。看護学部からは井萩原春さん、ヴォーゲル香名さん、さいたま看護学部からは埜涼花さんが、交換学生として選抜された。クリニックやホームケアリングなどで実習を行った。2025 年度 5 月には帰国報告会を予定している。

**表 7 2024 年度 スウェーデン赤十字大学交換留学生の派遣日程**

Måndag 26/2	Tisdag 27/2	Onsdag 28/2	Torsdag 29/2	Fredag 1/3
Introduktion	Hemsjukvården	Hemsjukvården	Hemsjukvården	Ledig
Måndag 4/3	Tisdag 5/3	Onsdag 6/3	Torsdag 7/3	Fredag 8/3
Hemsjukvården	Diabetes Mottagning	Diabetes Mottagning	Hjärt/Kärl Mottagning	Ledig
Måndag 11/3	Tisdag 12/3	Onsdag 13/3	Torsdag 14/3	Fredag 15/3
SSK Mottagning	SSK Mottagning	SSK Mottagning	SSK Mottagning	Ledig
Måndag 18/3	Tisdag 19/3	Onsdag 20/3	Torsdag 21/3	Fredag 22/3
SSK Mottagning	SSK Mottagning	SSK mottagning	SSK mottagning Slutbedömning	Ledig



## 6. スイス ラ・ソース大学交換留学生派遣

ラ・ソース大学への交換留学生派遣は、2025 年 2 月 24 日（月）～3 月 14 日（金）の 3 週間であった。看護学部から太田愛実さん、木目田綾那さん、さいたま看護学部から阿部はるみさんが交換学生として選抜された。病院実習を行ったり、国連本部や ICRC などを見学したりした。詳細は表 8 のとおりである。スウェーデンと同様、2025 年度 5 月には帰国報告会を予定している。



表 8 2024 年度 ラ・ソース大学交換留学生の派遣日程

Global Health Nursing Exchange Program, Lausanne, Switzerland					
February 22 <sup>nd</sup> – March 14 <sup>th</sup> , 2025					
Date	Time	Place	Program	Faculty	Special Comments
<b>Sat., Feb. 22<sup>nd</sup></b>		Geneva	Arrival in Geneva airport:  - EK089 – 12.45, from Dubai  (Harumi, Kimeda, Manami, Umi)	2024 outbound students     Ms Nadia Righetti, M. Christophe Boraley	They will welcome and accompany the students to reach the dorms by train and bus.
		Lausanne	Welcome at the Students' Residence		
<b>Sun., Feb. 23<sup>rd</sup></b>	13.00-16.00	Lausanne	Discovering Lausanne (visit, orientation)  <a href="http://www.lausanne-tourisme.ch/en">www.lausanne-tourisme.ch/en</a>  Arrival in Zurich airport:  - EK089 – 12.25, from Dubai  – Train Zurich to Lausanne – 17.30	2024 outbound students     Prof. Christophe Boraley	Pick up at Students Residence La Source    Welcome at Lausanne train station and accompany the students to dorms.

			(Sakina, Miyu)  Welcome at the Students' Residence		
<b>Mon., Feb. 24<sup>th</sup></b>	09:00-11:00	La Source, Vinet, room 102	Welcome to Switzerland & Guided tour discovering La Source	Prof. Karen Van der Veken, Dean, Prof. Christophe Boraley, Prof. Debora Martinez, Ms Nadia Righetti	Meet at La Source reception, Vinet
	11:00-11:30		Site Security Information	Eric Nicod Operations Manager /Fire protection safety officer	
	11:30-12:00	La Source, Vinet	Greetings and group picture, Mr. Stéphane Cosandey, Director	Prof. Karen Van der Veken, Dean, Prof. Christophe Boraley, Prof. Debora Martinez	Lunch Vinet  Pizza party
	14:00-16:30	La Source, Beaulieu, Simulated hospital, apartment A Bergières 14B	Visit to the simulated hospital	Prof. Christophe Boraley, Prof. Debora Martinez, Simulation team, Abel Delangre	
	16:45-18:00	La Source, Beaulieu,	Presentation of the SU objectives	Prof. Christophe Boraley,	

		room 8	and program, discussion time	Prof. Debora Martinez	
	19:00- 21:00	La Source, Beaulieu, Presbytère	Informal gathering (optional)	Prof. Karen Van der Veken, Dean, Ms Nadia Righetti, Prof. Christophe Boraley, Prof. Debora Martinez, 2024 outbound students, student association (ADES)	
<b>Tue., Feb. 25<sup>th</sup></b>	10:30- 12:00	La Source, Beaulieu, auditorium Gailloud Lusso	Conference mental health in Switzerland	Prof. Shyhrete Rexhaj	
	13:00- 14:30		Conference Global Mental Health	Prof. Debora Martinez	
	15:00- 16:00		Poster themes discussion and personal presentation preparation	Prof. Christophe Boraley, Prof. Debora Martinez	

	17:30-20:00	La Source, Beaulieu, auditorium Gailloud Lusso	Personal presentation about school and region & informal gathering Presentation by ADES about HEdS La Source	Prof. Karen Van der Veken, Dean, Prof. Christophe Boraley, Prof. Debora Martinez, 2024 outbound students, student association (ADES)	
<b>Wed., Feb. 26th</b>	08:30-11:30	La Source, TBC	Individual study time		
	13:00-16:00	La Source, TBC	Clinical posting and private clinic preparation	Prof. Christophe Boraley, Prof. Debora Martinez	
<b>Thur., Feb. 27<sup>th</sup></b>	08:30-11:30	Lausanne	Visit private clinic, Hirslanden	Prof. Christophe Boraley, Prof. Debora Martinez	
	13h30 - 16h30	TBC	TBC		
<b>Fri., Feb. 28<sup>th</sup></b>	06:00-17:00	Lausanne	Practical posting	Paired with La Source students	<b>Clinical uniform &amp; badge required.</b> Lunch on site
	17:00-17:45	La Source, Vinet room 102	Discussion time about the first week	Prof. Christophe Boraley, Prof. Debora Martinez	
<b>Sat., March 1<sup>st</sup> &amp; Sun.,</b>	<b>Free weekend</b>				

<b>March 2<sup>nd</sup></b>					
<b>Mon., March 3<sup>rd</sup></b>	08:30-09:30	La Source, Vinet, room 102	Discussion time about SU objectives and program	Prof. Christophe Boraley, Prof. Debora Martinez	
	10:00-12:00	La Source, Vinet, room 102	Conference: Swiss health and political system	Prof. Cédric Bussy	
	13:00-16:00	TBC	TBC	TBC	
	16h00 - 18h00	Rehabilitation workshops, Department of Community Psychiatry, 1008 Prilly	Visit of rehabilitation workshops – art studio Césure	Prof. Debora Martinez; Prof. Christophe Boraley	
<b>Tue., March 4<sup>th</sup></b>	08:30-12:00	La Source, Beaulieu, Simulated hospital, room 8	Simulation: mental status clinical evaluation	Prof. Pierre Lequin, Prof. Debora Martinez	
	14:00-16:00	La Source, Beaulieu, room 4	Workshop: partnership & care	Prof. Evelyne Berger, Prof. Tania Zambrano Ovalle, Prof. Debora Martinez	
<b>Wed., March 5<sup>th</sup></b>	09:00-11:00	La Source, Vinet, room 203	Poster preparation time	Prof. Christophe Boraley, Prof. Debora Martinez	
	TBC	La Source, TBC	Conference :	TBC	



			mental health in the workplace (1)		
Thur., March 6 <sup>th</sup>	08:00- 18:00	Geneva	Visit United Nations & Int. Red Cross Museum: <a href="http://www.redcrossmuseum.ch/en">www.redcrossmuseum.ch/en</a> <a href="http://www.un.org/">www.un.org/</a> Which links with today's nursing?	Prof. Karen Van der Veken, Dean, Prof. Debora Martinez	Lunch at ICRC Restaurant
Fri., March 7 <sup>th</sup>	10:00-12:00	La Source, Beaulieu, room 09	Poster preparation and discussion	Prof. Christophe Boraley, Prof. Debora Martinez, Prof. Tania Zambrano Ovalle, clinical partners TBC	
	13:00-14:00	La Source, TBC	TBC	TBC	
	14:00-15:30		ADES activity in Lavaux OR Olympic Museum	Student association members (ADES), La Source sport group members	
Sat., March 8 <sup>th</sup> & Sun., March 9 <sup>th</sup>	Free weekend				
Mon., March 10 <sup>th</sup>	08 :15 - 12 :15	Vevey	Visit of Nant Foundation, eastern Vaud psychiatric sector	Prof. Christophe Boraley, Prof. Debora Martinez	

			Visit of Inizio, vocational rehabilitation		
	14:00- 16:30	La Source, TBC	Discussion time and final presentation preparation	Prof. Christophe Boraley, Prof. Debora Martinez	Written report about your exchange (approx. 300 words/week)
<b>Tue., March 11<sup>th</sup></b>	TBC	La Source, TBC	Conference :  mental health in the workplace (2)	TBC	
	13:00- 17:00		Individual study time for poster and final presentation		
<b>Wed., March 12<sup>th</sup></b>	08:00- 17:00	TBC	Daytrip to the Vaud mountains	Prof. Christophe Boraley, Prof. Debora Martinez, Prof. Dean Karen Van der Veken	
<b>Thur., March 13<sup>th</sup></b>	08:30- 16:30	Lausanne  Rue du Bugnon 21  Av. Bergières 11	Suggested cultural activities:  Health and society museum: <u>Musée de la main</u> <u>UNIL-CHUV</u>  Art brut collection:	student association (ADES)	Poster deadline 10:00

			<u>Collection de l'Art Brut</u>		
<b>Fri., March 14<sup>th</sup></b>	08:30- 10:00	La Source, Vinet, Room 203	Poster presentation, final presentation (10'/person), discussion and wrap up session	Prof. Karen Van der Veken, Dean, Prof. Christophe Boraley, Prof. Debora Martinez, Ms. Nadia Righetti, 2024 outbound student, student association (ADES) members, Professors, students, clinical partners	
	10:00- 11:00	La Source, Vinet	Closing ceremony	Mr. Stéphane Cosandey, Director Prof. Karen Van der Veken, Dean, Prof. Christophe Boraley, Prof. Debora Martinez, Ms. Nadia Righetti,	

## 7. 交換留学生派遣共通プログラム

看護学部、さいたま看護学部の各ガイダンス期間に、学生部会の協力も得て、国際交流に関する説明会をハイブリッドで開催した。内容としては、語学研修プログラムの準備状況、スウェーデン赤十字大学およびラ・ソース大学との交換留学再開に向けた準備状況を説明し、学生部会やTOEFL ITP の紹介を行った。

## 8. 2024年度交換留学生派遣：選考およびガイダンス

交換留学応募者数は13名であり、選考試験（英語筆記試験、面接）を行い、スウェーデン赤十

字大学およびラ・ソース大学への交換留学生を各3名選抜した。12月27日に事前オリエンテーションを対面で行った。事務手続き連絡の他、外務省推奨のたびレジ登録や緊急連絡先の伝達など、安全管理に関する周知を行った。

## E. 国際会議・国際シンポジウムの開催

### 1. 国際セミナー

2024年度は、国際交流運営委員会の企画により、2つの国際セミナーが開催された。

(1) 2024年6月14日にアフガニスタンより女性人権活動家のマブーバ・セラジ氏が来学し、「アフガニスタン女性のおかれた状況と保健課題」をテーマに広尾キャンパスにて講演をした。当日は対面で50人程度、オンラインで8人が参加し、本学からはセンター長の渋谷真樹先生が「日本における女性の高等教育」、本学修士課程 国際保健助産学専攻の新田真弓教授が「日本における女性の健康課題」を報告し、セラジ氏からは、アフガニスタン女性の現状と健康や教育に関する課題についてご講演があった。その後、アフガニスタンと日本の女性の健康課題や高等専門教育、女性の生活と権利保護等について教員や大学院生と活発な意見交換がなされた。事後アンケートでは、26名から回答があり、全員が講演の内容に満足できた、役立ったと回答していた。自由回答からは、アフガニスタン女性が置かれた現状を知る貴重な機会が得られたことに肯定的な評価が得られた。

日本赤十字看護大学国際交流センター主催 国際セミナー

### アフガニスタン女性のおかれた状況と保健課題

日時： 2024年6月14日（金）午後1時10分～午後2時15分

場所： 206教室（Zoomによるライブ配信併用）  
ライブ配信を設定しますが、できるかぎり対面でご参加ください。ライブ配信では十分に音声や映像が入らない場合がありますことをご了承ください。

申込み： ご参加希望の方は、右下のフォームよりお申し込みください。（申込期限6月13日17時00分まで）

内容： 1 日本における女性の高等教育（渋谷真樹先生）  
2 女性の健康課題（新田真弓先生）  
3 アフガニスタン女性の健康課題（マブーバ・セラジ氏）  
4 質疑応答・意見交換

ゲスト： マブーバ・セラジ氏（Ms. Mahbouba Seraji）  
アフガニスタン女性権利活動家・ジャーナリスト

マブーバ氏は、著名なアフガニスタン女性の生活と権利保護のために活動する権利活動家であり、ジャーナリストです。国際関係の様々な会議やメディア取材等で各国を訪問しており、2021年にTIMEの「世界で最も影響力がある100人」に選ばれています。今回、日本アフガニスタン協会主催の講演会出席のため来日しており、本学訪問の運びとなりました。

写真提供：日本アフガニスタン協会

皆様のご参加をお待ちしております

お問い合わせ先  
日本赤十字看護大学 国際交流センター  
Email: kokusa@redcross.ac.jp





(2) 2024年11月21日に韓国交通大学からキム・ヨンハ先生をお招きし、広尾キャンパスにおいて国際会議「看護学生のためのアクティブ・ラーニング：日韓経験交流ワークショップ」を実施した。大学院生3名や学部生1名、教員3名が参加し、本学からはセンター長の渋谷真樹教授が「アクティブラーニングの重要性」、齋藤副センター長が「助産学におけるアクティブラーニングの実際」を報告し、キム先生からは、「韓国看護学生へのシミュレーショントレーニングの実際」についてご講演があった。少人数であったが、日本語・英語・韓国語とを織り交ぜながら活発な意見交換がなされて、密度の濃いワークショップとなった。アンケートでは学生全員から回答があり、日本と異なる韓国の看護教育について知る機会となったこと、少人数だったので意見や質問がしやすかった等の意見が述べられていた。

国際交流センター企画 国際セミナー

**看護学生のためのアクティブラーニング：日韓経験交流ワークショップ**

ACTIVE LEARNING FOR NURSING STUDENTS: A KOREA-JAPAN EXPERIENCE EXCHANGE WORKSHOP

**日時** 2024年11月21日(木) 18:00-19:30

**場所** 日本赤十字看護大学 208教室 (対面のみ)

**使用言語** 英語 (日本語での質問もOKです!)

**内容**

- アクティブラーニングの重要性  
日本赤十字看護大学 渋谷真樹先生
- 助産学におけるTBL/Active Learningの実際  
日本赤十字看護大学 齋藤英子先生
- 韓国看護学生へのシミュレーショントレーニングの実際  
韓国交通大学校 Kim Yeon-Ha先生

総合討論 (司会: 日本赤十字看護大学 吉川悦子先生)

**参加方法** 事前申込 (フォーム) は [こちら](#) または右QRコードより

**対象: 教員・大学院生**  
(学部生の参加も歓迎します)

韓国からお迎えしたKim Yeon-Ha先生とアクティブ・ラーニングについて一緒に意見交換しませんか?

日本のアクティブ・ラーニングについても知りたいと思っています。ぜひ、ご参加下さい。



## F. その他 国際交流活動及び国際事業・協力活動

### 1. TOEFL-ITP

2024 年度は、TOEFL-ITP を 2 回広尾キャンパスにて実施した。交換留学等を希望している両学部生、英語に興味を持っている両学部生、編入生、大学院生を対象とした。大学院 1 年生全員は研究科教務委員会より受験料が支払われた。本学の修士課程国際保健助産学専攻を受験予定の外部の方も受験可能となり、このスコアを同選考の入試のスコアとして利用できるようになっている。

第 1 回 2024 年 5 月 25 日（土）10 時より実施

受験者合計 97 名（学部 28 名、さいたま看護学部 2 名、修士 53 名、博士 1 名、外部 13 名）

第 2 回 2025 年 2 月 22 日（土）10 時より実施

受験者合計 30 名（学部 17 名、さいたま看護学部 2 名、修士 7 名、博士 1 名、外部 3 名）

2025 年度も 5 月と 2 月に 2 回実施予定となっている。

2023年度 国際交流センター運営委員会 役割分担と年間スケジュール													
2023年度		2023年											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国際交流センター運営委員会		20日	25日	22日	20日		21日		17日	21日	18日		14日
学生	ガイダンス説明会 (対面・オンライン)			募集要項配布・申請			選考			オリエンテーション (オンライン)			2/19～3/22派遣 (3名)
学生								10/22-11/3受入れ(3名) 来校 (選考あり)					次年度学生 選考受入予定
学生	ガイダンス説明会 (対面・オンライン)			募集要項配布・申請			選考					2/26-3/12派遣 (3名)	
学生								10/16-11/3受入れ (3名)					次年度学生 選考受入予定
学生	ガイダンス説明会 (対面・オンライン)					8/18-9/11 語学留学							
大学院生海外研修													
他国との交流					7/26 クロアチア Medical High School Varazdin 校長来校								
スウェーデン赤十字大学との共同研究									10/30 Dr. Jenny Gaststett&Dr. Helene Eriksson Nursing Education in Sweden	11/30 IFRC Global Health担当者来 日講演会 (対面&オンライン)	2/14(水) ビル ゲ・カラッラール 「トルコの紹介 2023年トルコ・シ リア地震と看護」	2/24(土) TOEFL-ITPテスト 第2回 (レベル1)	
国際会議・国際シンポジウム		4/17 (月) ジュリー・ワトソン 講演会「ケアリング 理論」											
海外学会発表・研修・語学力の推進 (TOEFL-ITPテスト実施)			5/27(土) TOEFL-ITPテスト 第1回 (レベル1)										
MOU		5/30 グランド・バ ン・バスター MOU締結 (メール)	6/12 スリランバ ン赤十字看護大 学 申し出期限	7/21 聖アンソ ニー看護大学 MOU締結 (メー ル)	8/21 スリラン バ赤十字看護大 学 MOU 調印式 (対面)								
学生部会								10/16-11/7 交換留学生歓迎会・看護体験 10/21(土) クロア・ルーシェ					
年報/活動報告書													
IHEL P. in Tokyo							9/4-9/15 IHEL P. 開催(対面)						
自己点検用資料/中期計画/ ホームページなど													
予算							2024年度予算作成 予算案の委員会 報告			2024年度予算 予算案提出			
姉妹赤十字社訪問申請			7/27-8/6 インドネシア赤 十字 (バリ州& デンパサール 市) 8/19-26 スイス100訪問 (対面・学生)	8/19-26 スイス100訪問 (対面・学生)	9/12 カンボジア赤十字 (対面)	10/2-4 ケニア赤十字 (対面)				1/23-24 キリバス赤十字 (対面)		3/4-8 ルーマニア 赤十字 (対面) 3/3-8 インドネシ ア・バリ州 (対 面・学生)	

---

2024 年度 日本赤十字看護大学 国際交流センター活動報告書

作成年月            2025 年 4 月  
発行・編集          日本赤十字看護大学 国際交流センター  
〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-3  
日本赤十字看護大学  
電話：03-3409-0875  
FAX：03-3409-0589  
Email:kokusai@redcross.ac.jp

---